

種別	本年	昨年同期	対比
火災	10件	12件	△2
救急	1364件	1210件	+154
救助	22件	14件	+8
ヘリ誘導	36件	39件	△3
その他	23件	34件	△11

Monthly 木曾消防

No.228
~ 230

編集 下條貴越
発刊 木曾消防署
令和4年11月1日

7月



ハラスメント研修会 (7月13日・8月12日)

(一社)日本産業カウンセラー協会から講師をお招きして、ハラスメント防止のための研修会を行いました。ハラスメントが発生すると、職場環境の悪化だけでなく、組織の信用を失ってしまい、信用回復に多大な労力と時間を要する重大な問題です。研修によって、現代社会におけるハラスメントについて理解を深めました。

木曾消防署見学会 (7月30日・31日)

消防の仕事に興味がある学生(中学生から大学生)と社会人を対象とした見学会を2日間実施し、3名の方が参加しました。見学両日とも天候に恵まれた中、消防署内と消防車両の見学のほか、救助資器材の取扱いや放水体験などを行いました。参加者全員が消防志望ということもあり、興味津々で見学・体験していました。



8月

木曾川源流夏祭り (8月14日)

一人でも多くの地域住民の防火・防災意識の普及を図ることを目的として、木祖村で開催された「木曾川源流夏祭り」に防災体験ブースを出展しました。体験内容は、『VR消火訓練シミュレーター』による消火訓練を出展し、27名のお祭り来場者に体験していただきました！



本機材は、「令和4年度長野県 地域発元気づくり支援金」を活用して整備しました。VR(バーチャルリアリティ)という映像技術を活用した消火訓練は、リアルな火災発生時の映像を見ながら消火訓練を行うことで、実災害に対応できる能力を身につけることができます。



9月



長野県地震総合防災訓練（9月1日）

9月1日の「防災の日」に合わせて、長野県地震総合防災訓練が開催され、当消防本部から3名が参加しました。

本訓練は、新型コロナウイルス感染拡大防止により、リモートでの訓練が行われ、有事における各関係機関との連携を確認しました。

長野県消防学校初任実科査閲・修了式（9月17日）

長野県消防学校にて初任科第65期の実科査閲及び修了式が行われました。

新規職員3名は、消防学校での約半年間の研修で、消防に関する基礎知識と技術のほか、強靱な体力と精神力を身に付けました。

実科査閲では、研修成果を披露し、たくましく頼もしい姿へ成長し、無事に研修修了を迎えました。

10月上旬から当直勤務となり、様々な現場へ出場し、消防防災への第一線に立ちます！



10月

大桑村中学校職場体験学習（10月17日・18日）

大桑中学校の生徒1名が職場体験学習に来庁しました。職場体験は2日間行われ、放水体験や救助資器材の取扱い体験、救急講習などの様々な体験を行いました。

今回の学習で学んだことを、日常での防火・防災や、急病人などへの応急処置に活かして欲しいと思います！



長野県消防相互応援隊合同訓練（10月22日・23日）

長野県消防相互応援隊合同訓練が松本市で行われました。本訓練は、大規模地震による災害派遣を想定した現場活動及び野営訓練を実施し、県下13消防本部が参加しました。

当消防本部からは救急隊1隊3名、支援隊1隊2名が参加し、他消防本部との連携活動を高めました。また、本訓練には女性消防職員が多く参加し、災害派遣先での女性活躍のため様々な工夫が施された大変有意義な訓練となりました。



厳しい寒さがやってきます。火・暖房の取扱には十分注意しましょう！

全国统一防火標語「お出かけは マスク戸締り 火の用心」

